

3 宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金割当について

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年・立教開宗八百年慶讃懇志金割当については、現行の宗派経常費御依頼割当基準を用いて、2019年度から2022年度までの慶讃懇志金の総御依頼額と各年度御依頼額を、2019年度当初に御依頼することが、募財割当等に関する委員会（7月11日開催）にて審査承認され、2019年7月26日開催の教区会・教区門徒会合同会議（通常会）にて下記のとおり可決されましたので報告します。

(1) 募財方針

慶讃事業を推進するための懇志金として、寺院・教会・全門徒はもとより、宗祖の教えに遇いた有縁の方々一人ひとりから広くいただくことを基本とします。ただし、相続講扱いをすることが可能です。

(2) 募財期間 2019年度から2022年度までの4カ年度

(3) 長浜教区への御依頼額 36,084,000円

【内訳】 2019年度 9,138,000円
 2020年度 9,060,000円
 2021年度 8,982,000円
 2022年度 8,904,000円

(4) 慶讃懇志金の各寺院への御依頼割当基準について

① 1指数あたりの各年度の金額算出

	長浜教区への慶讃懇志金御依頼額	教区全体の設問1の合計指数	
2019年度	9,138,000円	9,299.5	= <u>982.6円</u>
2020年度	9,060,000円	9,299.5	= <u>974.2円</u>
2021年度	8,982,000円	9,299.5	= <u>965.2円</u>
2022年度	8,904,000円	9,299.5	= <u>957.5円</u>

② 「指数額」の設定（端数調整）

2019年度	<u>982.6円</u> の10円以下を切上げ⇒ <u>990円</u>
2020年度	<u>974.2円</u> の10円以下を切上げ⇒ <u>980円</u>
2021年度	<u>965.2円</u> の10円以下を切上げ⇒ <u>970円</u>
2022年度	<u>957.5円</u> の10円以下を切上げ⇒ <u>960円</u>

2019年度～2022年度合計指数額⇒3,900円

③ 各寺院慶讃懇志金御依頼額算出方法

「寺院御依頼指数」 × 3,900円